

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協会の今後の活動予定をお知らせ致します。
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

1月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修(第6回) 「界面化学とバイオマテリアル」

日時 1月10日(火) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センター VBL オフィス
講師 産学・地域連携センター 白浜 博幸 准教授

2 国際産学官連携戦略シンポジウム

日時 1月20日(金) 11:00~17:00(シンポジウム) 17:20~18:50(情報交換会)
場所 ホテルグランヴィア広島 4階「悠久A」 費用 無料(交流会は別途会費を頂きます)

2月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修(第7回) 「先端エレクトロニクス実装技術(基礎)」

日時 2月13日(月) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センター VBL オフィス
講師 産学・地域連携センター 末次 憲一郎 教授

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/techrd/>

産学官連携推進研究協会についての入会方法および活動情報の URL は
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyoryokukai/> をご参照ください。

❖ コーディネーター紹介 no.02 企業の皆様からのご相談に対応する、産学官連携コーディネーターを紹介致します。第二回は白方明治氏。



白方 明治 Akiharu Shirakata

担当業務：技術相談、教員紹介、共同研究受入れ、公的資金応募相談

技術分野：繊維強化樹脂の成形全般、営業手法

職歴等：高圧溶接容器および繊維強化樹脂製品製造業出身

ひとこと：大学は敷居が高いとの噂がありますが、誤解です。用がなくてもコーヒーを飲みに来てください。

編集後記

2011年の漢字は「絆」となりました。東日本大震災やタイの洪水等、とんでもない自然災害のなかで人間の無力感を強く意識した一方で、被害者の連帯やボランティア活動等のなかに「絆」を実感したという由来です。奇しくも、本紙の名前も同義の「つながる」です。グローバルな経済環境はますます厳しくなり、「つながる」ための環境は整っているわけですが、具体的な活動が伴わないと意味ありません。会員向けの技術相談や若手技術者のための研修等の連帯した活動を既にスタートさせていますが、新年度は研究助成事業等さらに新しい取り組みを始める予定です。地域産業界と大学とのチームワークを通じて、なでしこジャパンのワールドカップ優勝のような成果を生むことが新年の抱負です。(文責：橋本 律男)



発行：産学官連携推進研究協会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)
〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号 TEL: 082-424-5673/FAX: 082-424-6189/E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp
お問い合わせ先：広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門
〒739-0046 広島市鏡山三丁目10番31号 TEL: 082-421-3631/FAX: 082-421-3639/E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp

Contents

- ❖ 「産学協働で地域、日本を元気に！」：岡本哲治 1
- ❖ 活動報告(11~12月) 2
- ❖ 産学連携商品紹介 3
- ❖ 資金調達情報 3
- ❖ これからの活動(イベント)情報 4
- ❖ コーディネーター紹介 4
- ❖ 編集後記 4



産学協働で地域、日本を元気に！

広島大学産学官連携推進研究協会 副会長 岡本 哲治
(広島大学 理事・副学長)

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
新しい年が皆様にとって良い年となりますよう祈念しております。本年もご指導、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

昨年9月16日に設立総会を行った本研究協会は、会員の皆様方のご理解、ご支援により、地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム、技術・研究紹介と交流のうべ等、順調に事業を展開しているところです。

昨年は、民主化運動や金融不安などの大きな環境変化に加えて、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故という地球規模の大災害に遭遇しました。

私たちは、利便性ある生活を求めて、自然の猛威を忘れ、時には猛威に立ち向かって科学とそれを応用した技術を発展・前進させてきました。原子力開発も然りです。改めて生きるとは何だろうか？ 科学や技術の進歩とは何だろうか？ と考えざるを得ません。このような大きな災害の中で、今なおその戦いは続いています。私たちに与えられた役割を果たし、元気で希望に満ちた明るい未来に繋げなくてはなりません。

広島大学では、人類が解決を迫られている複雑な課題に挑戦し、世界の平和と地球社会の持続的な発展に貢献するため、従来の学問分野、研究領域の枠組みを超え、新たな知を創造できるグローバルリーダーを育成し、社会に輩出することを目的として、研究科を横断する新たな学位プログラムを開設します。文部科学省の支援を受けて行う「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」と、当校が独自に取り組む、「半導体革新集積科学リーダー育成プログラム」および「グローバル環境リーダー育成プログラム」の3つの学位プログラムです。

これらプログラムでは、これまで本学が培ってきた専門性を基盤に、従来の学問分野、研究領域の枠組みを超えて、独創的な課題に挑み、幅広い知識をもとに事象を俯瞰し、グローバルに活躍する人材を育成することを目指しますが、もはや、大学だけではこのような人材育成はできません。本プログラムでは国際力や実践力育成のために、産学協働授業科目や国内外企業・機関へのインターンシップ研修が大きな位置を占めております。

本プログラムを推進するためにも、これまで以上に、本研究協会の会員の皆様方との連携、情報共有など、密度の高い産学官連携の展開が必要となります。

皆様方のご理解、ご支援を頂きますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



Report 1 「広島大学新技術説明会2011 in 広島」開催報告

広島大学では、「広島大学新技術説明会2011 in 広島」を下記要領にて開催致しました。ここにその概要を報告致します。

【開催日時】平成23年11月30日(木)10:30~16:30

【開催場所】広島ガーデンパレス 2階(孔雀の間ほか)

【後援機関】中国経済産業局、中国経済連合会、(公財)ひろしま産業振興機構、(公財)ちゅうごく産業創造センター、(社)中国地域ニュービジネス協議会、広島県商工会議所連合会、東広島市、広島中央サイエンスパーク 研究交流推進協議会

【参加費】無料

【開催内容】広島大学教員による最新技術シーズのプレゼンテーションならびにその個別技術相談会

【参加者数】659名(延べ人数)

開催当日は企業関係者、公的研究支援機関等を始め、659名(延べ人数)の多くの皆様方にご参加いただきました。因みに、昨年度の参加者数は424名でした。今年度このように、参加者数が大幅に増加したのは、昨年末に発足しました「広島大学産学官連携推進研究協力会」会員の皆様方に多く参加いただいたためと推察しております。

主催者挨拶に続き、本学教員自らによる最新技術のシーズ紹介、その後の個別技術相談会、ならびに企業の方から、本学教員との産学官連携活動(共同研究等成果報告)(プログラムA-4,B-4)も発表いただき、盛会裡に終了することができました。また、当日はRCC(中国放送)によるテレビ取材も行われ、本学教員シーズの注目の高さも窺い知ることができました。終わりに当たり、本新技術説明会にご参加いただきました皆様方に改めまして感謝申し上げます。

なお、当日の発表資料(PDFファイル)やプログラムについては産学・地域連携センター国際産学連携部門のホームページ(http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/12668/dir_id/83)からご覧いただけます。

(文責:(地域版新技術説明会主担当)白浜 博幸・堀江 良子)

テレビ取材も訪れた会場風景



このページでは、企業と広島大学との共同研究の結果、商品化につながったものを紹介して参ります。

産学連携商品紹介

地球にやさしいバイオプラスチック

将来の資源循環型社会の構築に向けて、植物由来によるカーボンニュートラルなバイオプラスチックを広島県内の産学官と連携することで、自動車部品へ適用可能な材料として開発しました。この材料は、80%以上の高い植物度を維持しながら、熱や衝撃に強く、美しい外観を持った射出成形が可能です。



プレマシー水素 RE ハイブリッド車

商品情報

2009年3月リリース販売開始のプレマシー水素 RE ハイブリッド車の内装部品(写真参照)

日刊工業新聞社主催第一回モノづくり連携大賞 NEDO 賞受賞

関係機関・研究者

広島大学(白浜博幸准教授)、西川ゴム工業(株)、広島県立総合技術研究所(大橋俊彦部長他)、近畿大学工学部(杉山一男教授、白石浩平教授)、(独)酒類総合研究所(家藤治幸室長他)、ダイキョーニシカワ(株)、(株)日本製鋼所、ヤスハラケミカル(株)、マナック(株)、(財)ひろしま産業振興機構、マツダ(株)、中国経済産業局



適用内装部品
(グローブリッド、シフトパネル、フロントコンソール、ロアパネル)

資金調達情報

共同研究や商品開発を行う際の必要資金の調達方法を調査し、お知らせします。

今回は金融機関の融資制度について、もみじ銀行と広島信用金庫に問い合わせを行いました。

融資関連

金融機関名	もみじ銀行	広島信用金庫
商品名	YM ベストサポート	アシスト
対象者	以下の要件を満たす法人および個人事業主 ・株式会社、有限会社、合資会社、合名会社、合同会社、医療法人 ・個人事業主(青色申告で貸借対照表を作成しているもの)・業歴3年以上・法人税、消費税等の延滞が無い・保証会社の保証が得られる	次の条件を満たす法人および個人事業主 ・広島信用金庫の会員
使途	事業資金(運転資金、設備資金、新規事業資金を含む)	事業に必要な運転資金、設備資金
金額	100万円以上3,000万円以内(10万円単位)	1,000万円以内
期間	6ヶ月以上5年以内(6ヶ月単位)(据置なし)	5年以内
利率	審査結果に応じた所定の金利	変動金利:金利については窓口までお問い合わせください。 ・中国税理士共同組合加入税理士の顧問先で、担当税理士から紹介を受けた場合には、次の優遇を行っています。 金額:3,000万円以内 利率:所定の利率から最大0.5%の優遇
その他	くわしくはお気軽に広島ビジネスプラザ(0120-18-2393)またはもみじ銀行窓口へ直接お問い合わせください。	・上記融資制度によらず、内容に応じたオーダーメイドのご提案をさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

※詳しくは、お近くの各金融機関へお問い合わせください。

Report 2 第3回 技術・研究紹介と交流のゆうべ

平成23年10月27日(木)、コラボスクエア(東広島市)にて、「第3回 技術・研究紹介と交流のゆうべ」を開催致しました。

「わかりやすく」をテーマに大学で普段行っている研究や学科の紹介を行う本企画、今回は工学研究院 藤本由紀夫教授に講師をお願いし、輸送・環境システム分野と藤本先生のご研究の紹介を行いました。講義は説明だけでなく、圧電センサを使用した実演も交えて行われ、聴講者の方々も興味深く聴いていらっしゃいました。

また、その後の交流会でも活発な意見交換が行われ、大変有意義な会となりました。

今後もこのような会を開催致しますので、ぜひご参加下さい。

(文責:森下 浩明)

Report 3 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

第3回目、第4回目は「高性能・高機能繊維材料の基礎と応用」をテーマにそれぞれ10月11日、11月14日に実施いたしました。

講師は産学・地域連携センターの松井亨景特命教授。天然繊維や人造繊維についてその歴史や構造、特徴などについて実物のサンプルを触ってもらいながら、説明を行いました。

また、第4回目の研修終了後には交流会を開催しました。受講者の方からは「研修内容は現在の業務とは直接関係はないが、他分野の基礎的知識を身につけることにより視野を広げ、新しい技術の開発に役立てたい」などのご意見をいただきました。

今後も月1回のペースでの開催を予定しています。

(文責:山口 裕介)